

要 請 書

原子力規制委員会 御中
経済産業大臣 茂木敏充 様

2013年9月11日

関西電力大飯原子力発電所4号機がまもなく定期検査のために停止します。昨年5月以来、日本で稼働する原発が再びゼロになります。私達は、大飯原発が再稼働された昨年7月以降の毎週金曜日、福井市内で、「大飯を止めろ!」「再稼働反対!」のデモ行進を続けてきました。今度の定期検査を最後に、大飯原発のみならずすべての原発を稼働させないでください。原発及び使用済み核燃料等は、現在のみならず未来の人達の命をも踏みにじるものです。他国への売り込みも止めるべきです!

今月2日、大飯原発のF-6断層に関して、原子力規制委員会は「活断層ではないという見解で一致した」と報じられました。しかし、活断層の評価にあたって、「300mの南側トレンチを掘るように要求したにも関わらず、関西電力は70mの短いトレンチしか掘っていない」のみならず、F-6でない3つの活断層「FoA(エフオーエー) - FoB(エフオービー) - 熊川断層」の連動について議論していない等、不十分極まりないものです。

「阪神大震災後17年間で、活断層が起こした可能性のあるマグニチュード(M)6以上の主な地震14回は、いずれも国が警戒を促す約100の主要な活断層帯以外で起きていた」と報じられています(2012.8.31 朝日新聞)。この事実を見れば、日本で原発を稼働させることは狂気の沙汰と言えるでしょう。

問題は日本国政府だけでなく、立地県にもあります。7月25日に私達が福井県に申し入れた際、県の原子力企画幹は、活断層と評価された敦賀2号機について、「工学的に評価することも必要」と繰り返し発言しました。福井県は、活断層の上に原発が建っていると判断されてもなお稼働させようと悪あがきをして、県民の安全など考えていません!

正しいことを曲げても何もとがめられない、このようなことがまかり通ってしまう世の中を、後の世代に残していいのでしょうか?
原発は要りません。稼働させないでください。

若泉政人

(反原発福井コラボレーション)

(サヨナラ原発福井ネットワーク)

小野寺恭子

(福井から原発を止める裁判の会)

